

新年号  
2021. 1. 1  
創造・参加・実践

WEST UNION

## JR西労組 岡山地方本部

# 「安全の確立」を最優先に、 運動の継承、前進に全力で取り組む!



謹賀新年  
岡山地方本部 執行委員長  
大瀧 浩二

新年あけましておめでとうございます。  
昨年中はJR西労組岡山地方本部の取り組みに対し、ご支援・ご協力を頂き、誠にありがとうございました。

昨年を振り返ってみますと、年明けから、COVID-19・新型コロナウイルス感染症が世界的に感染拡大し、世界中を震撼させるなか、日本においても感染が拡大し、政府による「緊急事態宣言」の発出により、都道府県をまたぐ「移動の自粛」、「外出自粛」等の要請や海外からの渡航制限などにより、経済活動や国民生活はもとより、ライフラインである交通運輸産業や観光産業をはじめ様々な産業において、過去に例を見ない程の大打撃を受け、企業倒産やコロナ解雇などが相次いでいる深刻な状況に陥った一年でありました。

JR西日本経営動向も、輸送人員が激減し収入減は甚大なものとなり、第一、第二四半期決算も赤字決算となり、通期見通しも二六〇〇億円の赤字が見込まれているなど会社発足以来最大の危機的状況にあります。

そのような中、組合員は、これまでに在宅勤務やテレワーク、一時帰休をはじめとする勤務調整も余儀なくされ、さらには一時金カットなど生活悪化と先行きに対する不安感にさらされながら、地域の生活を支えるエッセンシャルワーカーとして、日々、それぞれの職場で新型コロナウイルスへの感染リスクを抱え、公共交通機関としての使命を果たすために奮闘頂いています。組合員の皆様にあらためて敬意を表します。

新型コロナウイルス感染拡大の収束が見えず、第三派を迎え予断を許さない状況が続くなかではあります。集団感染の未然防止の観点から、職場での感染防止対策、安全・衛生活動の充実を図ると共に、一人ひとりが日々の行動に留意していただき、今、やるべきことをしっかりと取り組みながら、全組合員が一丸となってこの難局を乗り越えていかなければなりません。

このように、かつて経験した事の無い厳しい状況下で、労働組合としてもこれまでになく対応を迫られています。岡山地方本部として、引き続き「安全の確立」の取り組みを最優先に、新型コロナウイルス感染症対策の取り組みをはじめ、組織課題、働き方の課題、政策課題、政治課題など、多くの諸課題に対し、組合員と家族の負託に応えるべく執行部一同さらなる運動の前進に向け全力で取り組む決意を申し上げますと共に、引き続きのご理解・ご協力をお願い申し上げます。

会計監査員 川西 義之 小林 幹夫 新山 裕太								
	組織部員	組織部員	組織部長	総務 福祉対策・政策部長	書記長	副執行委員長	副執行委員長	副執行委員長
	笹井 真吾	小橋 りえ	犬飼 洸平	吉井 康雄	堂屋 敷 光	宮野 勇馬	古武 真	今井 新市
職員 幡司 かおり 福田 香								
	特別執行委員	特別執行委員	教宣部員	教宣部員	教宣部長	業務部員	業務部員	業務部長
	三宅 孝幸	清親 眞樹	山本 正輝	野上 洋輔	大林 靖知	森下 裕馬	安井 正義	原崎 哲之